

平成26年7月第7回教育委員会定例会

【日 時】平成26年7月29日（火）午後1時30分～午後4時45分

【場 所】北栄町役場大栄庁舎 第4会議室

【出席者】福光純一委員長・河本恒夫委員長職務代理者・磯江典子委員・光村哉智代委員・岩垣教育長・西村教育総務課長・杉本生涯学習課長・岩田指導主事・桑本指導主事・大庭教育総務課室長

【議事日程】

1 会議録署名委員の指名 磯江委員、光村委員を指名

2 行政報告

教育長

- ・6月26日～27日鳥取県町村教育長会総会について
 - ※8月中国五県教育長大会日程 8月21・22日 内容協議 町村減少50人 県教育委員会への要望書 骨子の検討 案完成
- ・教員交通違反について
 - ※教員3件 職員1件
 - 速度違反 2件 追突 2件
- ・いじめ案件について
- ・教育連絡会について
- ・7月25日由良川に子どもの靴があったことについて
 - ※北栄町の子どもではなかった。捜索願はなかったが連携して対応し把握できた。

教育総務課長

- ・第6回定例教育委員会の開催について
- ・第2回北栄町子ども・子育て支援会議の開催について
- ・学校・PTAと教育委員の意見交換について
- ・サマースクールについて
- ・8月の行事予定について

生涯学習課長

- ・北栄ゆら由良 川くんだり2014について
- ・歴史民俗資料館企画展 鳥取県立博物館絵画コレクション展「初夏の風」について
- ・第27回すいか・ながいも健康マラソン大会について
- ・英語でおはなし会について
- ・北条小学校・北条中学校合同人権学習開級式について
- ・鳥取県部落開放月間について
- ・第60回東伯郡民体育大会について

- ・人権教育講演会について
- ・今後の行事予定について
- ・その他特徴的な事項について
 - ・北条文化会館修繕工事について
 - ・中央公民館 1 階で利用できる会議室が増えたことについて
 - ・図書館への寄贈について

(委員) 給食の異物混入は工場での対応か。防止対策はどうか。教育委員会に報告が遅れたことの改善方策は。

(委員長) 学校では校長の連絡はあったのか。

(事務局) 主食ごはんへの異物混入であり県教委が調査した。遠藤パンで機械の更新をした。それまでは手洗いで実施。同一機械は点検実施を依頼した。それぞれに対応の温度差があった。調理場と県学校給食会での対応であった。危機管理意識が低い。したがって、発生、即報告とした。学校では校長が不在で教頭が対応した。給食センターへ連絡しそれから調理場への連絡としたところ遅くなってしまった。給食センター、教育委員会は同時連携でのマニュアルを見直し整備する。夏休み明けに実施。マニュアル改善は危険異物が入っているものは食べない。連絡をすることとする。

(委員) 過去にはなかったのか。

(事務局) ビニール編の混入が 2 年前にあった。

(委員) その時には食べたのか。

(事務局) 改善はしてきているが危険異物であったため対応が必要であった。業者委託であるため危機意識が高く対応は早い。

(委員長) 学校の対応はどうか。

(事務局) 校長不在で教頭から給食センターへ 1 時報告。給食センターから教育委員会へは夕方の報告であった。

(委員長) なぜすぐ連絡しなかったのか。そこがまずい。

(事務局) 業者委託であった。マニュアルに不備がある。

(委員長) 学校の対応もまずい。報告は何のためにするのかを確認して欲しい。なぜ、何のためにを徹底する。

(事務局) 2 学期が始まるまでに学校に徹底したい。

(委員) 業者に対する管理も必要ではないか。機械を変えればいいというものではないのでは。起ってしまってからでは遅い。

(事務局) 県も現地に入り調査した。行政処分するものではなかった。遠藤パンは委託先。県学校給食会の管理状況は分からない。確認させてほしい。

(委員長) 機械業者は点検に入っているのか。連絡はしてあるのか。本来点検が必要ではないのか。

(事務局) 入っていない。点検し、部品が削れたようであった。よくわからないので

確認させてほしい。

(委員) 破片だから対応が遅れた。異臭など給食を停止するようなシステムとして欲しい。今後はそういうこととなるのか。

(事務局) 今後はそういう伝達が必要。マニュアルは8月上旬に提示したい。

(委員) 由良川くだけは、子ども会は瀬戸、大島生徒会、北条中有志、減ったが何か原因があるのか。

(事務局) 少子化やイカダ制作の経費や労力の問題。

(委員) 夏休みの一大イベントでいい行事と思う。子どもたちが少なく残念である。夏休みにPTAで行うものとして要望する機会はないのか。

(事務局) PTA総会。何か保護者の多忙感がある。

(委員長) 大島自治会は自治会が作成し子どもたちがかかわっている。

3 協議事項

(1) 「平成27年度に使用する小学校教科用図書」承認に伴う臨時教育委員会の開催について

※ 8月8日(金) 午後3時15分

(2) 土曜授業について

※教育委員会としての方向性をまとめる。(土曜授業の必要性)

(委員) アンケートは土曜授業の過ごし方が悪いで実施。テレビは見ているけど有意義に過ごしている。学力向上は、週1時間短縮で向上するものなのか。難しい問題。

(教育長) 学力向上は日々の積み重ねが重要。土曜日に出たからというものではない。子ども・教員の負担感を取り除いてやるのが重要。平日の授業にゆとりを持たせてやる。長期休業を活用することがいいのでは。学校ではすでに短縮している。

(委員) 1コマをあけることの意義をきちんと提案してあげることが必要。

(委員長) 学校週5日制の総括がされていない。学校・家庭・地域の連携は10年前からなされている。国は何もしていない子どももいる。生活・学力の2極化が出てきていると言っている。指導者が窮屈となっている。教える側がしっかりと時間をかけて研究し指導することが必要。成果は出てきている。目標をしっかりと持って成し遂げる。時間を保障してやり指導を行っていく。子どもの過ごし方は、テレビ・ビデオ+他の過ごし方と見るべきではないか。中学校の方が多い。生活の2極化は、スポーツや勉強、ピアノなどの目標ありと目標なし、有意義に過ごしていないではないか。町としてどんな子どもを育てるか、基礎学力の向上、定着、読み・書き・そろばんとコミュニケーション能力、「生きる力」が大切。「生きる力」のもとは何か。基礎学力が第1。10年たって身についていない、その方法が分らない。教員も子どもたちにしっかり教えなけれ

ばならない。日々の積み重ねが「生きる力」となっている。学力の2極化に手立てをしないといけない。例えば、習熟度別授業が必要ではないのか。学力の落ちている子どもの手だてが必要ではないか。そのような子に手立てをする時間が取れないのか。

(委員) どうしてもしなければいけないものか。子どもほくえい塾の利用を向上させた方がいいのではないか。

(事務局) 参加が限られているのが現実。検討が必要とは思う。発言の趣旨は分かった。

(委員) 北栄長らしい子どもを育てることが重要ではないか。

(教育長) 教育ビジョンのとおり。

(委員) 確かな学力、子どもが面白いと感じる授業、英語でもまだ工夫がいる。淡々とするのではない。するような方向性ではと思うが。

(委員長) 本気で考えて行くべき、保護者も考えるべきと意見があった。つまずいている子どもに目を向けれたらと考える。

4 報告事項

- ・子ども・子育て支援新制度について
- ・新ALT（外国語指導助手）の来町について
- ・平成26年度前期同日公開参観日のまとめについて
- ・平成26年度要保護・準要保護児童生徒の審査結果について
- ・平成25年度教育委員会関係予算における決算状況について

5 その他

- ・鳥取県市町村教育委員会委員全体研修会
※ 平成26年8月1日（金）午後1時から午後5時
セントパレス倉吉
- ・次回教育委員会 定例会 8月27日（水）午後 1時30分から